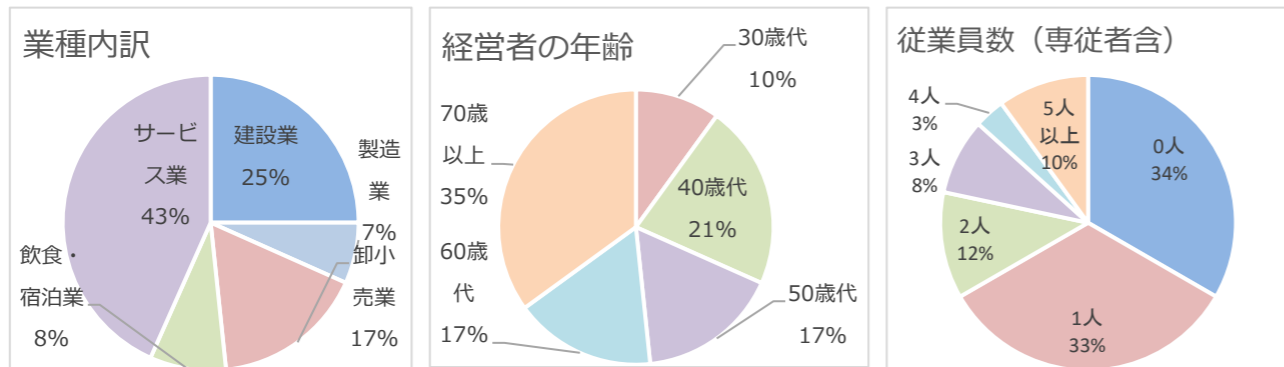


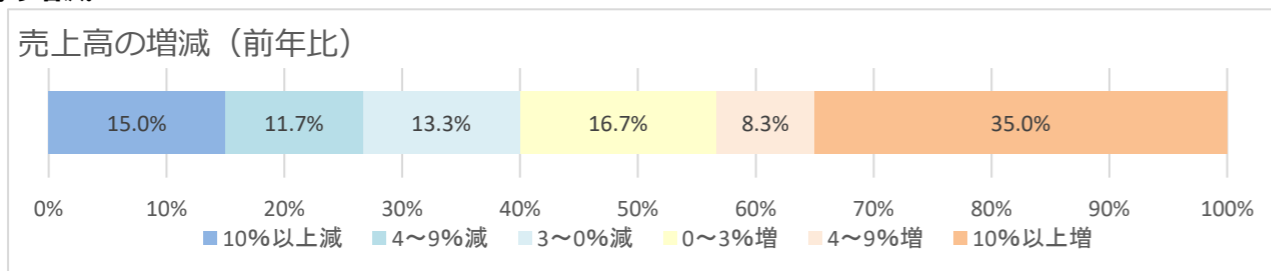
藤岡町商工会管内 景気動向調査報告書【2022年】

■ 回答者の属性



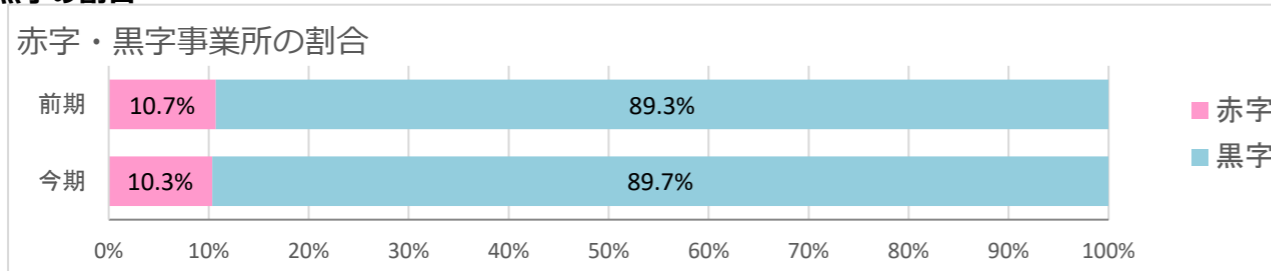
2023年1月～3月にかけて税務申告支援を行った60事業所（建設業15、製造業5、卸小売業10、飲食・宿泊業5、サービス業25）に対し調査を行った。

■ 売上高の増減



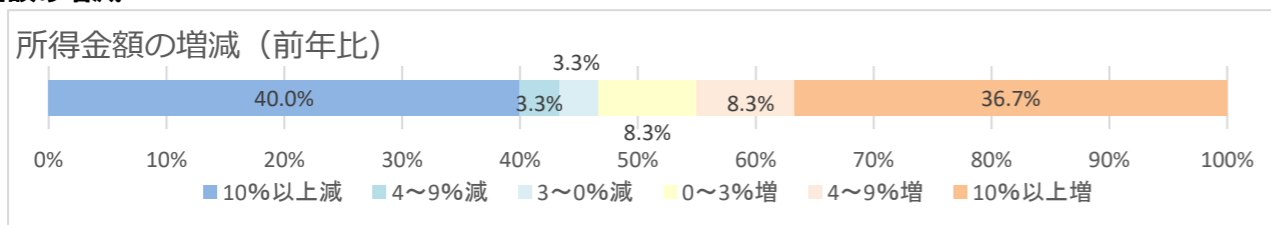
昨年に比べ売上が減少した事業所が24に対し、増加が36と半数以下の40%の事業所が減少した。10%以上増加した事業所は35%あった。

■ 赤字・黒字の割合



前期は黒字事業所が大部分を占め（89.3%）ており、今期は前期と同様程度の52事業所が黒字決算（89.7%）となった。

■ 所得金額の増減



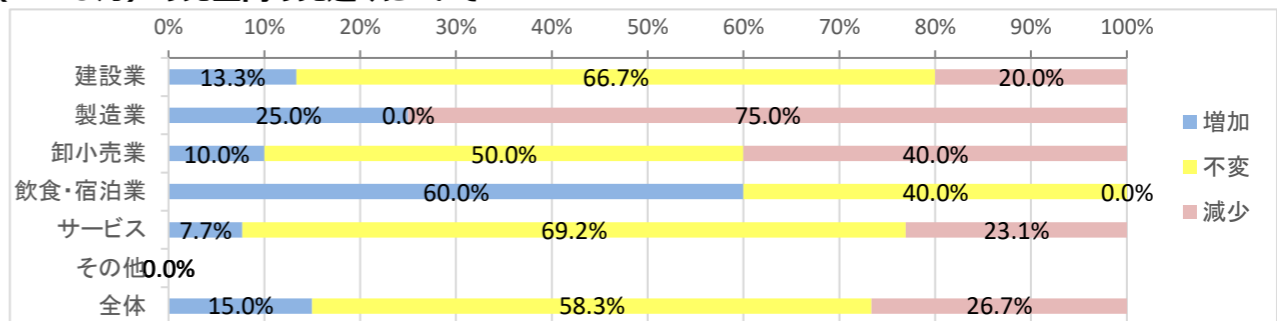
売上金額が増加した事業所は50%超だったこともあり、所得金額が増加した事業所は50%を超える。売上金額の増加と利益率を保つ取組が功を奏したといえる。

■ 最近の経営上の問題点

第1位	仕入価格の上昇	21
第2位	諸経費の増加	21
第3位	売上減少	20

『仕入価格の上昇』『諸経費の増加』が最近の経営上の問題として第1位に挙げられており、昨今の世界情勢による物価高などの外的要因が経営を圧迫していることが

■ 今後（4～8月）の売上高の見込みについて



今後（4～8月）の売上高については、全体の58.3%が不変・減少を見込んでいて、15%が増加を見込んでいる。業種別にみると、特に製造業の75%、卸小売業の40%が売上減少と回答しており、需要喚起が喫緊の課題である。

■ 今後の経営課題について

第1位	販路開拓	31
第2位	諸経費の削減	19
第3位	商品・サービスの充実	13

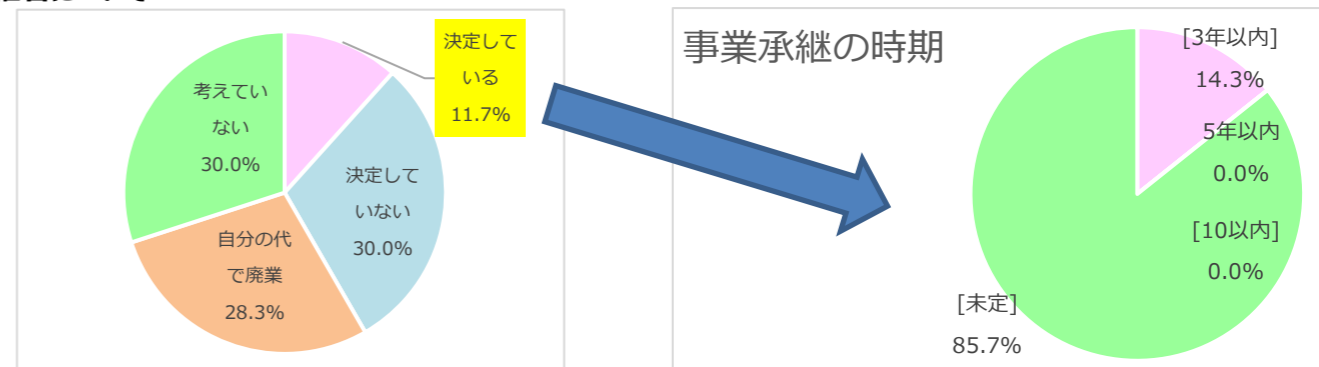
『販路開拓』が今後の経営課題として第1位に挙げられており、特にサービス業で多くの事業者の課題となっている。

■ 経営課題解決に向けた支援策について

第1位	補助金・助成金の申請	51
第2位	販路開拓支援	11
第3位	事業計画策定支援	10

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では『補助金・助成金の申請』が第1位となっており、第2位の『販路開拓』第3位の『事業計画策定支援』と繋がる支援を展開していく必要がある。

■ 後継者について



後継者について調査対象60者のうち、決定している事業者は7社（11.7%）しかおらず、今後、事業承継について積極的に推進していく必要がある。また後継者が決定しているものの承継時期が未定の事業所が85.7%を占めており、事業承継計画の策定が急務である。